

MOODLE (授業支援システム) について

'09/11/10

メディア教育センター

1. MOODLE (ムードル) とは

- ・ 授業支援システム (LMS) あるいは、コース管理システム (CMS)
コンピュータ・ネットワークを利用した教育システムを eラーニングと呼びますが
「授業支援システム」は対面型の授業を補完・補強する為の eラーニングシステム
で現在、多くの教育機関で導入が進められています。
対面型の授業が必ずしも前提ではありません。
- ・ MOODLE は、その中で特定のメーカーに依存しないオープンソースの
ソフトウェアとして世界中で最も利用されているシステムです。
- ・ 機能
講義資料の配布、課題の提出、学生の学習履歴の把握、小テスト、
学生と教員・学生同士のコミュニケーションを WEB 画面上で行えます。
- ・ 効果
授業に付随する作業を効率化し授業そのものに集中できます。
先生からは受講学生の、学生からは自らの学習履歴を管理できます。
学生は授業内外の作業を電子化し、学習効率を高める事ができます。

2. 本学での導入経緯

- ・ 大学においては、ELI 及びメディア系授業において多数の先生が利用され
一定の実績があります。
- ・ 学院においては、GC 科での導入実績があります。
- ・ MEC では興味を持たれる先生に実際の授業での検証をお願いしました。
'08/4 より、学院、ELI で別々に契約していた外部サービスを一元化し、
全学での利用に向けパフォーマンスを改善しました。

3. 導入の現状

- ・ ELI では、担当の先生を中心にサポート体制や啓蒙活動も含め運用されています。
- ・ MEC では、ELI 以外での導入を試行している段階で、少数の先生方ではありますが
サポートできる範囲での紹介を行ってきました。
- ・ 今後、サポート体制やサーバーなどのパフォーマンスの想定を行いつつ学内への
周知を図る事を進めております。

4 . MOODLE のメリット、検証結果

授業に付随する作業の効率化

- ・自宅から、教材のアップロードができる。
授業用フォルダーに比べ、自宅で利用できる事、履修生に限定した閲覧管理
- ・学生への一斉送信
- ・教員、学生が登校できない場合の授業の補完

学習履歴の管理

- ・学生も学習履歴を把握、管理できる。

授業内外の作業を電子化する事で、学習効率を高める。

- ・パワーポイントの閲覧などは、事前に済ませる事で授業に集中させる。

授業外での効果を中心に検証する。

- ・授業内での過度のIT化はパワーポイントへの依存や対面授業の良さを失う。
- ・コンピュータ教室が限られている。(ガイダンス時には必要)

5 . 基本的な概念

コース ; 授業科目毎の単位 コースの一覧から受講するものを選択する。
教員はコースを開設する。

アカウント ; 教員は受講者をアカウント登録し、学生はパスワード入力しログイン。

ロール ; 学生、教員、管理者としてログインする事ができる。

6 . 各機能の紹介

資料ファイルの配布(リソース)

- ・事前に自宅などから、資料をアップロード
- ・資料が、授業日毎に時系列に配置され一覧できる。(ウィークリーフォーマット)
- ・過去の配布資料を繰り返し閲覧できる。

掲示板(フォーラム)

- ・教員と学生の間で質疑応答ができる。(メールと異なり、やり取りを共有できる)
- ・通知(お知らせ)機能としても使用できる。

課題(アクティビティー)

- ・自宅からレポート提出できる。(提出期限を設定できる)
- ・教員は課題提出を一覧画面にて確認できる。
- ・教員がフィードバックや評点をつけ、学生が確認できる。

小テスト(アクティビティー)

- ・多肢選択問題、記述問題、 × 問題など 10 種類の問題を組み合わせで作成できる。

以上